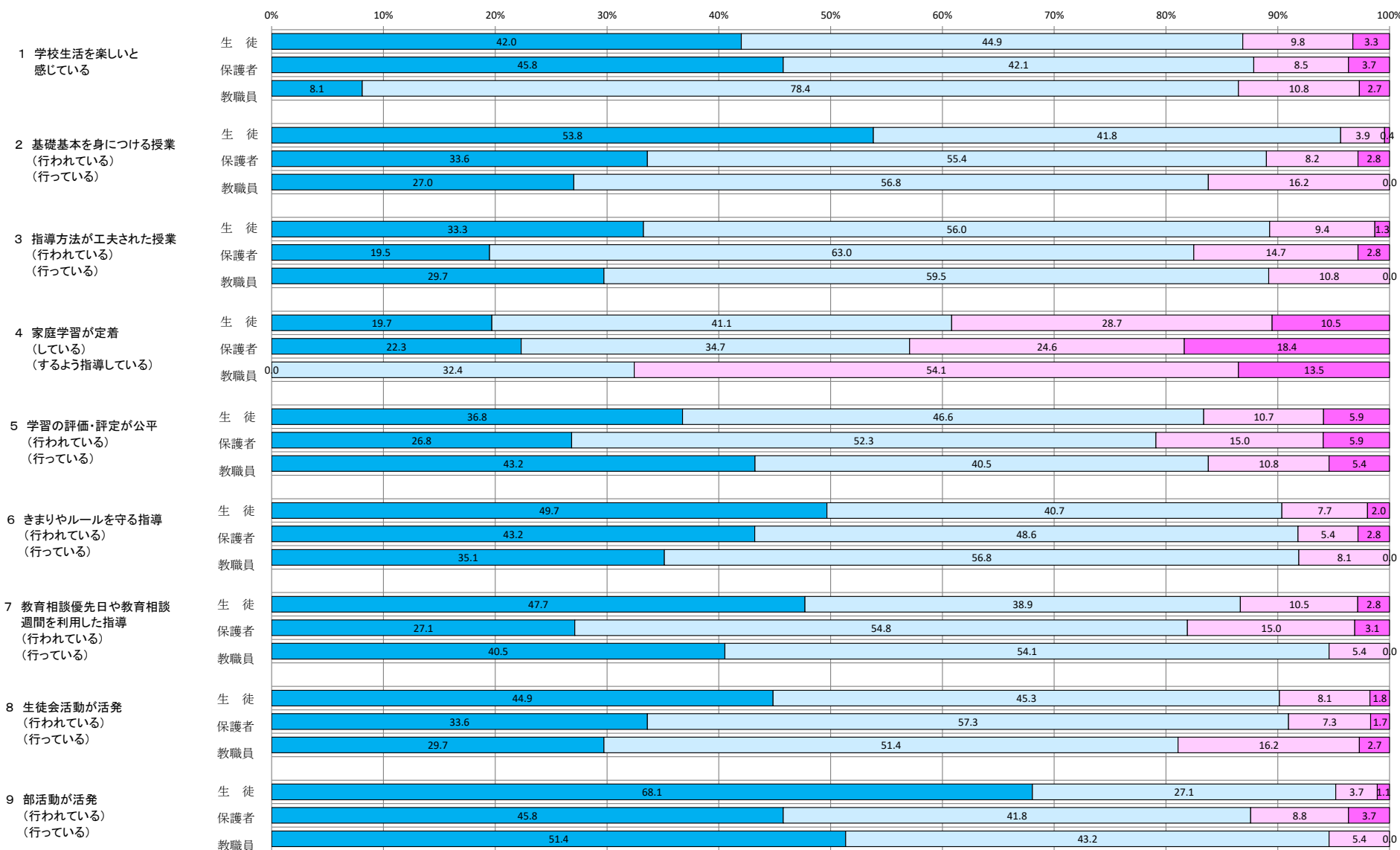


令和7年度 学校評価（生徒・保護者・教職員の比較）No.1

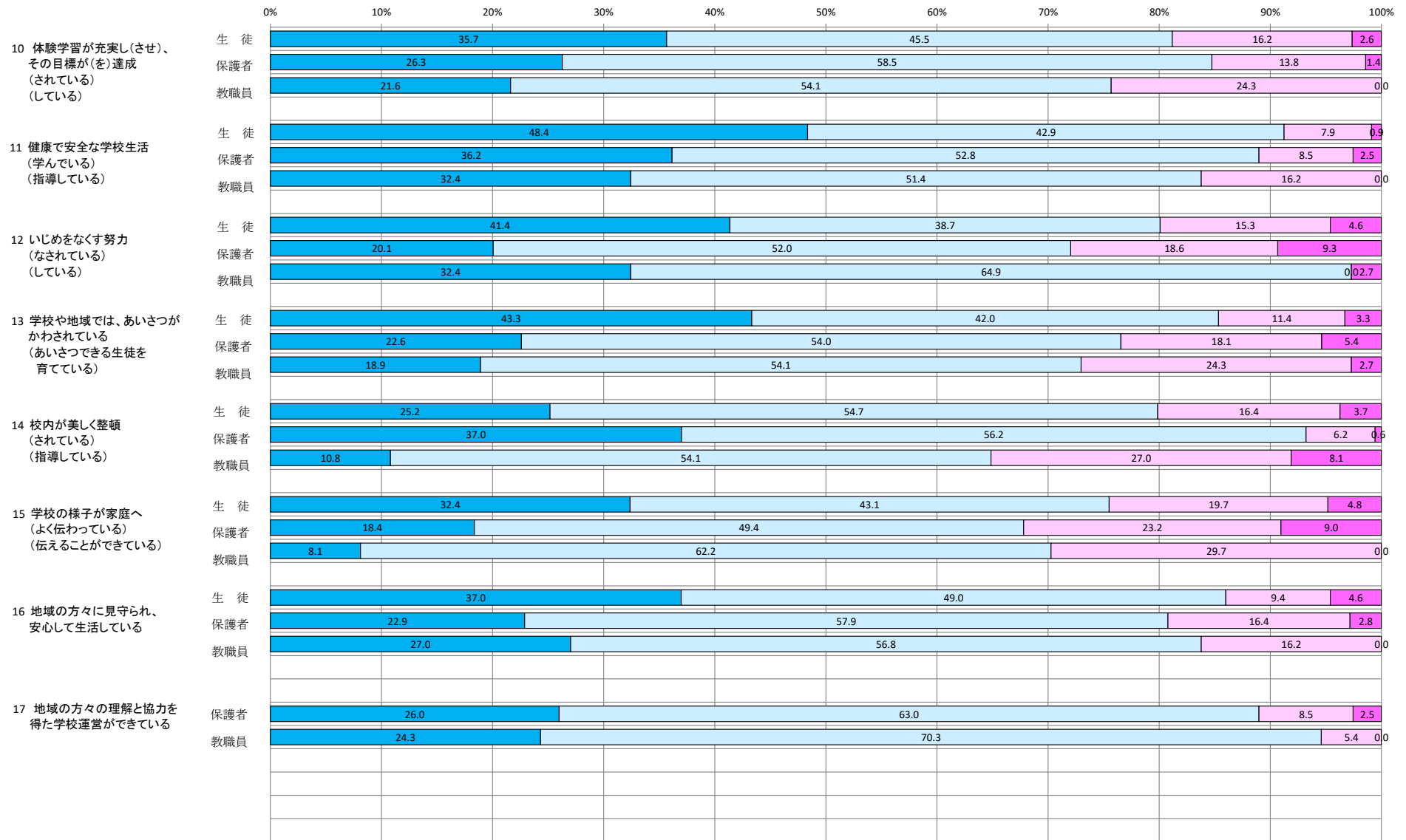
■あてはまる □ややあてはまる □ややあてはまらない ■あてはまらない

グラフ 1



令和7年度 学校評価（生徒・保護者・教職員の比較）No.2

■あてはまる □ややあてはまる □ややあてはまらない ■あてはまらない



【アンケート結果と分析】

1 アンケート対象者と実施方法

全生徒・保護者・教職員に対してアンケートを実施した（令和7年12月）。保護者からの外部評価という面と、三者の意識の違いを探る面の2面から分析や評価を行おうと考えた。三者のアンケート内容は16項目を同じ質問とし、1項目を保護者、教職員のための質問とした。回答率は、生徒が88.3%、保護者が68.5%、教職員が100%であった。

保護者のアンケートをLINE配信で行っているが、回答率が昨年より10%ほど低下しているため次年度に向けて検討が必要となった。

2 アンケート内容

質問2～5を「学習面」、質問6～7を「生活面」、質問8～11を「教科外での活動面」、質問12～14を「生活面で特化した内容」、質問15～17を「地域連携」とした。質問17に関しては保護者と教職員のみに行った。

3 アンケート集計方法

生徒、教職員の集計についてはChromeBookを利用して行った。保護者に対しても、GoogleのFoamsを利用し、LINE配信にて行った。生徒・保護者・教職員の結果を比較するとともに、前年度の結果とも比較し、今年度の成果と課題を検証していく。

4 アンケート分析（自己評価と今後の課題）

質問項目ごとに保護者からの評価を確認し分析するとともに、生徒・保護者が感じている内容と教職員の取り組みや思いにどの程度の差があるのかを分析することで、自己評価につなげていこうと考えた。

○は「概ね評価できるとした項目」

●は「改善の必要があるとした項目」

△は「検討の必要があるとした項目」

というように質問項目ごとに記号を用いて標記することとした。

なお、参考資料として昨年度の集計結果(グラフ)を最後に添付してある。

- 質問1 「学校生活は楽しいと感じている」については生徒・保護者ともに9割が近くが「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しており、多くの生徒・保護者が肯定的に捉えている。
- 質問2 「基礎基本を身に付ける授業」については、生徒のほとんどが肯定的な意見で保護者・教職員よりも高い評価となった。
- 質問3 「指導方法が工夫された授業」については、生徒は9割近くが肯定的であるが、昨年、2割以上が否定的な回答であった保護者の回答も多少高くなり、少しずつ理解を得られているように感じる。
- 質問4 「家庭学習が定着しているか」については、生徒・保護者・教職員の三者が共通して認識する最重要課題となっている。昨年より大きな改善が見られず、三者で取り組むべき共通の課題と言える。

- 質問5 「学習の評価・評価が公平に行われているか」については、三者ともに回答に大きな差は見られなかったが、約2割が否定的な意見であった。生徒や保護者に対して説明をするだけでなく、「指導と評価の一体化」に向け、研修をすすめる必要がある。

- 質問6 「きまりやルールを守る指導」については、昨年より引き続き、評価できる結果となっている。

- △ 質問7 「教育相談を利用した指導」については、生徒・保護者ともに1割以上が否定的な意見であった。生徒・保護者の回答は昨年より大きな変化はなく、今後も検討の必要がある。

- 質問8 「生徒会活動が活発」については、生徒・保護者の肯定的な回答が増加しており、今後も様々な形で生徒会活動を見直していきたい。

- 質問9 「部活動が活発」については、ほとんどの生徒が肯定的な意見だった。

- △ 質問10 「体験活動」については、生徒・教職員の肯定的な回答が増加しており、今後も工夫した取り組みを行っていきたい。

- 質問11 「健康で安全な学校生活」については、ほとんどの生徒が肯定的な意見であり、概ね評価できる結果となっている。

- 質問12 「いじめをなくす努力」については、保護者の否定的な意見が3割近くになり、昨年より否定的な回答が増えている。今後も啓発活動や指導方法の改善が必要である。

- 質問13 「あいさつ」については、教職員の肯定的な回答が減少しており、教職員の率先した指導が求められる。

- 質問14 「校内が美しく整頓されているか」については、生徒の約2割以上が否定的な意見となっている。その反面、保護者は9割以上が肯定的な意見となっていた。教職員の否定的な回答が三者の中で最も多く、清掃活動の指導をはじめ、日常の身の回りの整理整頓の指導など率先した指導が求められる。

- 質問15 「学校の様子を伝えることができているか」では、保護者・教職員の約3割が否定的な意見となり、学校からの配付物をしっかりと保護者へ渡す指導だけでなく、HPの更新など家庭への伝達方法に更なる工夫と改善が必要である。

- △ 質問16 「地域に見守られ、安心して生活しているか」では、今年度も保護者の2割近くが否定的な意見であった。今後、地域の方々の活動等、伝え方を検討する必要がある。

- △ 質問17 「地域の方々の理解と協力を得た学校運営」でも保護者の1割以上が否定的な意見となっており、質問16とともに学校から保護者へのアナウンスが課題となっている。